

こんなアイデアで子どもは変わる！

1. 「あっ・・・なんか、おもしろそう・・・」 子どもの心がゆれると・・・目が輝いていく
 - ・ いつもと同じでは、おもしろくない。
 - ・ 遠足でも運動会でも、前と違うものをやりたい。そんな教師の気持ちが大切。
 - ・ この授業では、あの子をこっちに向かすぞ！ そんな強い思いが「いい授業」につながる。
 - ・ 地道な学習もアイデア一つで楽しくなる。
 - ・ アイデアを考えるのは難しいけど、むちゃ楽しい！ それを楽しむ教師になりたい。
 - ・ アイデア一つで、子どもは変わる、子どもは生き生きしてくる。

2. どうやってアイデアを考えるのか

- ・ 人のアイデアを真似することから始まる。そしてそれを自分なりに加工する。
- ・ あの子の顔を思い浮かべる。ずっとずっと考える。あの子が何を求めているのか？
- ・ 教育書を読むだけではダメ、いろんな分野の本を読むこと。
- ・ テレビや新聞、電車のつり広告やCM・・・そんな所にヒントはいっぱい転がっている。
- ・ じっとしては、アイデアは浮かばない。行動あるのみ。
- ・ 楽しいことをいっぱい体験すると、不思議にアイデアが浮かんでくる。遊べ、先生たち！
- ・ 人によってアイデアが浮かぶ場所がある。その場所へ行こう。お風呂、電車、山、デート・・・

3. さあ、アイデアを出し合い、アイデアを共有しよう 「ワタシ、こんなことやってるよ！」

- ・ 授業のアイデア。行事のアイデア。学習のアイデア。掲示のアイデア。班活動のアイデア。宿題のアイデア。年始のアイデア。年賀状のアイデア。学年末のアイデア。卒業式のアイデア。親子活動のアイデア。懇談会のアイデア。百マス計算のアイデア。あいさつのアイデア。ゲームのアイデア。自己紹介のアイデア。給食のアイデア。遠足のアイデア。・・・・・・・・

4. 発想の豊かな子に育てたい

- ・ 教師のアイデアは大切だが、教師のアイデアを待つ子どもに育ててはいけない。
- ・ 子ども自身がアイデアを生み、自分で考え、行動していく子にしていこう。
- ・ 発想豊かな子を育てるためにも、教師の発想の豊かさが大切になってくる。
※仲島が書いた「教員海外派遣報告書」の題名は、「天井にも非常口を」 なんじゃこれ？
※話題の某英会話学校の「お茶の間留学」は、仲島の教え子が考えたアイデア。

★ 元気塾1月例会 2008年1月19日（土）10:00～ 若竹公民館

テーマ 「仲島の体育授業から考える～『2年くものすランド』の授業ビデオを見て～」

★ 広島大学附属小学校「初等教育全国協議会」 2008年2月8日、9日

シンポジウム「今、求められる教師力」

広島大学教授 樋口 聡 vs 元気塾主宰 仲島 正教